

第二回 荒川区区政改革懇談会

グループ討議会議録:真紅

【日時】

8月23日(火) 19:30~21:30

【場所】

荒川区役所 304会議室

【次第】

ステップ1: はじめに

ステップ3: 今日の話し合いの内容確認

ステップ2: 荒川の良い点・悪い点を話し合う

ステップ4: その他

ステップ1: はじめに

【前回の話し合いの内容確認】

- ・ コンサルタントにより、前回の話の内容確認がなされた。
- ・ 田島委員が新たにグループに加わることを確認した

【自己紹介】

- ・ 前回の欠席者を中心に自己紹介を行なった。

ステップ2: 荒川の良い点・悪い点を話し合う

【荒川区の良い点・悪い点の検討】

はじめに荒川区の良い点・悪い点について前回の宿題を参考にポストイットに書いてもらい、それを模造紙に張りながら委員に説明してもらった。

(立地のポテンシャルに関して)

- ・ 都電などがあり、交通の便が良いところは評価できる。都心等へのアクセスが良く、鉄道路線が多いので経済発展や人口増加の可能性はあるのではないかな。
- ・ 史跡も多く文化面でも多くの可能性を秘めていると思う。

(荒川のアイデンティティ・都市としてのブランドについて)

- ・ 日暮里の繊維通りやファッションストリートをもっと観光などに活用できないかな。
- ・ 全体的に魅力がない。これと言ってアピールするものがないと思う。
- ・ あまり、「特色」というものが感じられないと思う。そのせいで他への売り込みがうまくいかないのではないだろうか。
- ・ 下町文化と東アジアの文化が入り組んでいる感じがする。
- ・ 三河島周辺はコリアンが多い。その土壌を生かして、コリアンタウン的な感覚で観光資源として活かしたらどうか。
- ・ 荒川区は宮部みゆきや吉村昭などの小説の舞台になっており、荒川はそれなりに魅力がある

のではないか。

- ・ 産学連携というか、大学などは、ひとつの自治体とだけではなく広域でいろいろ連携をしていって地域づくりをしていきたいと言う意思を持っているところもある。そのようなうまく連携していくのが重要ではないか。
- ・ 集積エリアとしての魅力が不足している。上野と北千住のエアスポットみたいなイメージがある。
- ・ 他との連携が重要でないと言っているわけではないが、荒川を一つの独立国のように考えて、自分のところでいろいろ好きにやらせてもらえれば良いのではないか。
- ・ 再開発の地域と下町の雰囲気メリハリを持たせることが必要なのではないか。
- ・ 広域と言うか、日本全国を考えると認知度が低いと思う。

(イメージについて)

- ・ 他区にも走っているが、都電が走るまちと言うイメージ。下町を感じさせる。
- ・ なんとってもイメージが暗い。親の意識等全てに関わっている問題だと思うが、その価値観、捉え方など、やはり教育が問題なのではないか。
- ・ 品の悪さを感じることもある

(都市基盤・ハードに関して)

- ・ 住宅密集地で道幅が狭く、火災や地震があったときのことを考えるととても不安になる。
- ・ 防災に対してより配慮したまちづくりを進めていく必要がある。
- ・ 大型開発とその周辺の古い住宅密集地などの調和が十分とれていないと思う。
- ・ 緑・空き地や空間的なスペースにもっと余裕をもてたら良い。
- ・ アスファルトを剥がして昔のような土の道にしたら良いと思う。下町らしいような雰囲気も出るし、そもそも水を撒くことよりも効果的なヒートアイランド対策になる。
- ・ 再開発をするにしても、そのコミュニティを活かせるような再開発をしていった方が良い。

(道路に関して)

- ・ 主要道路は通っているが、全て荒川の端を通っており、なおかつよく渋滞しているのは困る。
- ・ 道路が狭く、入り組んでいる。ちょっと知らない場所の路地に入るとすぐに迷ってしまいそうになる。
- ・ 自分の周りの個別課題になるのかもしれないが、通学路に指定されているところが狭い割に主要道路からの抜け道になっているので車通りが多い。
- ・ 車を2件に1台しか使えないようにしたらどうか。環境にも良い。

(自転車に関して)

- ・ 西日暮里駅前や、町屋の放置自転車がシルバー人材センターの人が立つようになってから減少した。こういうことは良いことだと思う。
- ・ 自転車のマナーが乗り方にしても、放置にしても悪い。歩道を猛スピードで走っていったり、歩行者が邪魔だからと言ってベルをならして走っていったり、道路交通法から考えても違反だと思うが、取り締まれない現状もわかる。しかし、放っておいて良いというものでもない。
- ・ 自転車の駐輪スペースがそもそも少ないのではないか
- ・ 自転車問題などを解決するためには乗っている人たちの意識を変えていくことが必要。

(消費生活)

- ・ 荒川区は物価が安いのが良い。
- ・ 映画館など文化的施設が不足していると思う。
- ・ 商店街などで空き店舗が多くなってきているのは残念。

(区民自治に関して)

- ・ 区民が行政まかせの意識が強いのではないだろうか。これからの時代、行政がなんでもやってくれるというのでは持たないのわかっている。行政だけではなく自分たちで何が出来るのかを考え、実行に移していくべきだと思う
- ・ 区民から地域の情報を発信していくと言う動きが少ない。荒川ゆうねっとなどでやっているが、それだけでは十分だとは言えない。
- ・ 文化・スポーツ・福祉などの活動が活発だが、一方でそれぞれが硬直化してきているようだ。
- ・ 元気な高齢者もたくさんいるので、高齢者の活躍できる場やどんどん動いて集まってこれるような場が必要。
- ・ グループホームなどを子どもたちや障がい者も集える場にしたら良いと思う。

(コミュニティについて)

- ・ まちにいる人が気さくな感じがする。
- ・ 昔ながらのコミュニティが残る地区も多く、住民の意識が高いと思う。
- ・ 祭りが盛んなところが良い。他の地域だと、祭りでは駅前で騒いで終わりだが、荒川の場合はそれだけではなく地域に根付いている。このようなことから地域に愛着が持てるようになっていくと思う。
- ・ 区の規模が小さいことでお互いに顔を知りながら活動できるという良い点がある。
- ・ これはアパートなどの持ち主の問題なのかもしれないが、又貸し、又貸しが行われ、隣に住んでいる人の顔がいつの間にか代わっていたりすることが多い。それによって誰が隣にいるのかわからなくなり、不安になってしまう。
- ・ マンションの住民と自治会の連携が難しいと思う。マンションならマンションだけで一つの自治会並みの規模を持っていたりもするので。
- ・ 消防団との関係も難しい。町会・マンションと消防団とは連携していかないといけないと思う。
- ・ 建物のセキュリティという問題と、コミュニティが調和できれば良い。しかし、コミュニティには確かにわずらわしさと言うものがついてくるのも事実である。
- ・ 新しく入ってきて、町会に入らなくても良いという人が多いと思う。町会に入らなくても生活はしていけるので。
- ・ コミュニティの問題は大きい。しかし、人付き合いはわずらわしいという意見も有る。
- ・ 今までの人の欲求はものが多かった。その解決のためには関わる構成分子である人を育てないといけないと思う。そこにはわずらわしさにコミットしていくということも必要ではないか。そのわずらわしさが暮らしているということだと思う。
- ・ 商店街の空き店舗を昔の番屋みたいにして集うところにしたらどうか。このあたりの一

一つの面積は小さいが、少しは集まれるところになると思う。

(行政運営に関して)

- ・ 以前は他のところに住んでいたが、荒川区は他と比べて行政のレスポンスが早いと思った。近くのスクールゾーン（通学路）に車がたくさん通る状態になっているが、そのことを区役所に告げたらすぐに反応があり、看板が立てられたことがあった。
- ・ 行政の縦割りの弊害を感じるがあった。
- ・ 「補助の考え方に関して、地域の人が生活し易いようにする」と言うのを第一に考えて補助を行うべきだと思う。

【その他課題等について】

- ・ 観光のまちか、住むまちか、と言うのは大きなテーマだと思う。実際、観光客がたくさん入り込んで来るようなまちだったら住みにくいと思う。いろんなところに知らない人がやってくることになるため。

ステップ3：今日の話し合いの内容確認

本日の話し合いの内容確認がなされた。

ステップ4：その他

【次回について】

次回は、未来の荒川区の姿、こうなって欲しいまちの姿に関してを中心に議論していく。

日程は9月13日の19:30より。